

令和7年度事業報告

グループホームリゅうりゅう

基本方針に対する 達成状況	その人らしい豊かな生活が送れるように「寄り添う支援」に努める方針においては概ね達成できている。サビ管を中心に必要な支援を継続し、「常により良い」を職員全員で共有している。他 重点・稼働目標に対する達成状況参照
重点項目に対する 達成状況	令和7年8月の利用者の退居から入居者が入れられなかった。要因としては、職員間の早急に入居者をお迎えするという意識に齟齬があった。12月頃から入居の受け入れに対する意識が整い、2月から新入居者が入居され満床となった。10月からは人員配置加算の算定を実施し、徐々に収入の安定化が始まる。2～3月にかねてより待っていた他事業所のGHへの転居が決まった利用者（退去者）もいたが、早々に体験入居を実施し、4月には新入居を決めている。職員全員が新体制になってから、退居＝新規受け入れの意識がついてきている
稼働目標に対する 達成状況	100%の稼働を目標にしていたが、約8カ月間の空室の継続、人員配置加算の算定できなかった人員配置・採用活動においてスピード感がなかったことは否めない。12月からはサビ管を中心に職員会議等での運営の方向転換、入居に対する意識、当事業所の理念を見直しを図った。結果、受診対応など全職員が対応できる意識となった。
予算執行状況	稼働目標に対する達成状況は達成せず。稼働率の不安定さ、入居に対する意識の不一致、物価高騰が要因。物価高騰する世の中で世話人、支援員の買い物の工夫、節約に奮闘をしていた。しかし、食費、消耗品費の金額設定が物価高騰に適合していないと判断した。令和8年度から食費、消耗品費の値上げを実施する
事業およびサービス 目標に対する達成 状況	重点・稼働目標に対する達成状況参照 職員会議の定例化とその内容を検討している。主に収支を報告を取り入れ、収支意識を職員全員で共有している。令和8年度も本格的に継続をする。
その他事業計画に 対する達成状況	定年、再雇用者の継続意向が確定。キャリアパスでの面談にて各職員の意向を聞いた。令和8年度は常勤職員、非常勤職員全員の面談を実施をしていく。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	20人	600人	594人	
5月	20人	620人	607人	
6月	20人	600人	600人	
7月	20人	620人	589人	
8月	20人	620人	582人	
9月	20人	600人	553人	
10月	20人	620人	589人	
11月	20人	600人	562人	
12月	20人	620人	594人	
1月	20人	620人	577人	
2月	20人	560人	556人	
3月	20人	620人	595人	

利用者別の内訳

月	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	なし	その他	合計
4月		5	7	4	3			1	20
5月		5	7	4	3			1	20
6月		5	7	4	3			1	20
7月		5	7	4	3			1	20
8月		5	6	4	3			1	19
9月		5	6	4	3			1	19
10月		5	6	4	4			1	20
11月		5	6	4	4			1	20
12月		5	7	4	4			1	21
1月		5	6	4	3			1	19
2月		6	6	4	3			1	20
3月		7	6	4	3			1	21

年間行事等の報告

4月	・ 誕生日会
5月	・ 端午の節句
6月	・ 誕生日会
7月	・七夕 ・ 誕生日会
8月	・ 誕生日会
9月	・ ミニ納涼祭 ・ 防災訓練ⅠⅡⅢ
10月	・ ハロウィン食事会
11月	・ 日帰り旅行
12月	・ クリスマス食事会 ・ 大晦日食事会
1月	・ おせち料理
2月	・ 節分食事会 ・ バレンタイン（ご利用者通所先製造のクッキー等）
3月	・ 誕生会 ・ 消防訓練ⅠⅡⅢ